

日曜礼拝 式次第

説教者：アンドリュー・ウィルソン教授

司会者：

U-ONETV 上映

- 準備聖歌・新エデンの歌(22番) 全体
- 黙 祷・・・・・・・・・・・・・・・・ 全体
- 開 会・・・・・・・・・・・・・・・・ 司会者
- 聖 歌 ・ 天一国の歌 ・ 全体
- ※敬 拜・・・・・・・・・・・・・・・・ 全体
- ※家庭盟誓・・・・・・・・・・・・・・ 全体
- 代表報告祈 祷・・・・・・・・・・・・

み言訓読・・・・・・・・・・・・・・・・ 司会者

VTR 講義・・・・・・・・・・・・・・・・ 説教者

「天の父母様と真の父母様」

- 聖歌と献金・待ちしこの日(56番) 全体
- 感謝祈 祷・・・・・・・・・・・・・・・・
- お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・ 司会者
- 新参加者紹介・・・・・・・・・・・・ 司会者
- 聖 歌 ・ われら統一勇士(19番) 全体
- ※全体祈 祷・・・・・・・・・・・・・・・・ 全体
- ※閉 会・・・・・・・・・・・・・・・・ 司会者

※印は全員ご起立をお願いします

生命のみ言

真の父母経 59p・63p 「真の父母は神様の実体」

人間は、神様と真の父母に侍らなければ、その存在価値さえなくなるのです。神様と真の父母、すなわち縦的な真の父母と横的な真の父母の二つの真の父母が一つになってこそ、「私」が出てくるのです。言い換えれば、神様は縦的な真の父母、完成したアダムとエバは横的な真の父母となつて、その二つの父母が一つになった基台の上で私の心身統一が実現し、天国と神様が連結されるということです。したがって、神様と真の父母に侍らなければ、何もできないというのです。

宇宙の代表的家庭とは、墮落する前、アダムとエバが神様と共に理想としていた家庭です。ですから、宇宙の代表的家庭と中心的家庭とは、天上における代表であり、地上に降りてくれば、八段階の円形で垂直に位置する家庭です。垂直の立場で、天上の代表と中心が一つになった位置だということです。(2007.6.13)

宇宙は、神様の形を中心とした象徴的な実体です。その次に、形象的な実体であり、実体的な実体です。すべてのものが、本体に似ているというのです。最もよく似たものが形象的なものであり、形象を主体として似たのが象徴体です。象徴世界、形象世界、実体世界は、別々になっているのではなく、一つになっています。象徴、形象、実体を中心として見るとき、それを三段階と見るのですが、その中心はたった一つしかないというのです。一つなので、統一された位置にならざるを得ません。象徴も一つを願い、形象も一つを願い、実体も一つを願います。この世の中の象徴的な存在は万物です。形象的な存在は人間です。実体的な存在は神様です。

神様は、見えない無形としていらっしゃる。その無形の神様が有形の神様として顕現するためのものが、創造理想です。神様は見えない世界の实体にもなりますが、また、見える世界の实体にもなりたいたいと思うのです。そのため、見える世界の实体を再び造っておいのが人間なのですが、その人間の出發基地が真の父母だということです。真の父母は、見える世界において象徴的中心存在であり、形象的な中心存在であり、実体的中心存在です。それゆえ、この見える世界の真の父母の中心は、見えない世界の神様を身代わりとした実体と一体になっているのです。

霊界も同じです。霊界にも象徴世界があり、形象世界があり、実体世界があります。内容が見えないだけであって、見える世界と同じように、内外になっているというのです。すべての中心は一つです。見える世界の中心も一つであり、見えない世界の中心も一つです。見えないこの実体の中心は、霊界に行って定着するためのものなのです。(1999.1.1)

家庭盟誓

- 1、心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。
- 2、心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。
- 3、心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。
- 4、心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。
- 5、心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。
- 6、心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。
- 7、心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。
- 8、心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。心を創る。愛の創造。

礼拝奉仕要員

日 付	5/15	5/22
司会者		
代表祈 祷		
感謝祈 祷		
奉仕基台		

